

<b>はじめに（安藤委員）</b>	<b>1</b>
第1節 東南海地震と三河地震	1
第2節 戦時中の被害	2
<b>第1章 東南海地震の災害の概要</b>	<b>7</b>
第1節 東南海地震（安藤委員）	7
1 南海トラフ	7
2 地殻構造と深発地震面	8
3 巨大地震の歴史	9
4 1944（昭和19）年東南海地震	9
5 東南海地震の余震	11
6 東南海地震の震源モデル	13
7 修正震源モデル	15
第2節 東南海地震による災害（林委員）	16
1 被害の全体像	16
2 愛知県の震度分布と被害の特徴	18
3 三重県の震度分布と被害の特徴	20
4 静岡県の震度分布と被害の特徴	23
<b>第2章 東南海地震の被害と救済</b>	<b>24</b>
第1節 三重県の被害・救済（吉村委員）	24
1 日記・体験記に見る地震・津波の発生状況	24
(1) 伊勢湾地域の地震発生時の状況	24
(2) 熊野灘沿岸の津波襲来とその対応	25
2 統計に見る被害状況	29
3 被害救済策とその復興	33
(1) 被災時の緊急措置	33
(2) 災害復興体制	35

(3) 仮設住宅の建築.....	37
(4) 寄贈衣類・義援金募集と激励作文.....	38
<b>第2節 愛知県の被害・救済（羽賀委員、斎藤委員）</b> .....	<b>41</b>
1 地震の体験 — 中島飛行機製作所半田工場にいた学徒たち .....	41
2 被害状況.....	42
(1) 被害の実態と調査.....	42
(2) 工場の被害.....	43
(3) 交通機関.....	44
(4) 水道・電気・ガスなどの施設.....	44
(5) 公共施設・宗教施設の被害.....	44
3 救済への動き.....	45
(1) 愛知県による復旧対策.....	45
(2) 名古屋市による対策.....	46
4 葬祭と慰霊.....	47
5 三河地方の被害と救済.....	48
(1) 地震の発生と脱出.....	48
(2) 安否確認.....	49
(3) 救助活動.....	50
(4) 災害援助.....	50
(5) 復旧活動.....	53
(6) その他の被害影響.....	54
<b>第3節 静岡県の被害・救済（小澤委員）</b> .....	<b>57</b>
1 はじめに.....	57
2 中遠地方にみる軟弱地盤と家屋倒壊被害.....	59
(1) 軟弱な厚い泥質地盤での全壊家屋の集中.....	59
(2) 洪積台地等の家屋被害.....	62
(3) 地盤の液状化と地割れ・盛土崩壊.....	62
3 体験談に見る中遠地方の被災の実態.....	64
4 旧清水市の被害.....	66
5 旧清水市を除く静岡県中部・東部の被害.....	66
6 天竜川流域以西の被害.....	67
7 津波被害.....	68
8 救済.....	68
<b>第4節 長野県諏訪市の被害 ～市民が発掘した震災の実相～（伊藤委員）</b> .....	<b>71</b>

1	報道管制下の激震	71
2	「東南海地震体験者の会」の活動	71
3	常時微動調査	74
4	被害の全貌が明らかに	74

## 第3章 東南海地震のインパクト 76

### 第1節 津波の被害（木村委員） 76

1	津波の体験談・郷土史	76
2	津波の形容	77
	(1) 普段は見えない海の底が見えた	78
	(2) 海面が盛り上がりが見えた	79
	(3) 大波としてすごい速さで向かってきた	79
	(4) 静かに水が満ちながら迫り寄ってきた	80
	(5) 川上に向かって泥水がさかのぼってきた	81
3	津波に追われる・浸る・流される・飲み込まれる	81
	(1) 津波に追われる	82
	(2) 津波に浸る	82
	(3) 津波に流される	83
	(4) 津波に飲み込まれる	83
4	津波から逃げる	84
	(1) より内陸・高所への避難	84
	(2) 沖合への避難	86
5	津波をどう察知したのか	86
	(1) 地震＝津波連想	86
	(2) 過去の経験・言い伝え	87

### 第2節 その後の対応（羽賀委員） 89

1	復興への歩み	89
	(1) 復旧工事のための補助金・資材の配給	89
	(2) 空襲下での復興作業	89
	(3) 防空訓練と災害救済	89
2	「空襲は地震の連続だ」	90
	(1) 精神の鼓舞	90
	(2) 地震の教訓をいかす	91
3	災害情報の管理	92

(1) 被害情報の秘匿.....	92
<b>第3節 想定東海地震との関係（安藤委員）</b> .....	<b>94</b>
1 東海地震提唱の経緯.....	94
2 大震法成立の過程.....	95
3 地震空白域とは.....	95
4 駿河湾のプレートの沈み込み.....	96
5 前兆現象.....	97
6 地震予知情報.....	98
7 まとめ.....	99

## **第4章 三河地震の災害の概要** **100**

<b>第1節 三河地震（杉戸、鈴木委員）</b> .....	<b>100</b>
1 地震の概要.....	100
(1) 地表地震断層と地殻変動.....	100
(2) 震源断層と前震・余震.....	102
(3) 活断層評価における三河地震の意義.....	104
(4) 発光現象.....	105
(5) 隆起側における激しい被害.....	105
2 三河地震の地表地震断層.....	105
(1) 研究史.....	105
(2) 主な地点における地表地震断層の詳細.....	106
(3) 分布・長さ・形態・変位量・断層面の傾斜.....	107
(4) 地表地震断層からみた地震像.....	108
3 地表地震断層と震源断層モデルの関係.....	108
4 地表地震断層と活断層地形の関係.....	109
5 活断層における破壊の連鎖と三河地震.....	113
<b>第2節 三河地震による災害（林委員）</b> .....	<b>116</b>
1 被害の全体像.....	116
2 特徴的な被害分布.....	123
3 被害を拡大した要因.....	127
4 発光現象.....	128
5 産業などへの影響.....	129

## 第5章 三河地震の被害と救済 130

第1節 三河地震の被害と救済（斎藤委員）	130
1 就寝時の備え	130
2 地震の発生と脱出	130
3 安否確認	131
4 救助活動	132
(1) 家族、親戚、地域社会での救助	132
(2) 軍による救助活動	135
(3) 愛知県による救助活動	136
5 災害援助	138
(1) 被災者の生活	138
(2) 行政の援助	139
(3) 軍による援助	145
6 復旧活動	147
(1) 地縁・血縁による復旧	147
(2) 軍による復旧	147
(3) 「工作隊」による復旧	150
(4) 資材不足	153
7 三河地震によるその他の被害・影響	153
(1) 社会に関するもの	153
(2) 個人に関するもの	154
第2節 写真や絵から見た三河地震（林委員、斎藤委員）	155
1 碧南市原田三郎さんが撮影した被害写真	155
2 大浜警察署が撮影した写真	158
3 富田達躬さん撮影の写真	161
4 宮村攝三さん撮影の写真	162

## 第6章 戦時下での地震 173

第1節 報道管制の概観（木村委員）	173
1 言論統制・報道管制の概観	173
2 どのくらい頻繁に報道されたのか	175
3 どのような内容が報道されたのか～朝日新聞・読売報知新聞の場合～	177

4	どのような内容が報道されたのか～中部日本新聞の場合～	179
5	東南海地震発生翌日（12月8日）の報道	182
6	東南海地震発生から3～5日目（12月9日～11日）の報道	184
7	東南海地震発生から6～10日目（12月12日～16日）の報道	187
8	三河地震発生翌日（1月14日）の報道	188
9	三河地震発生から3～5日目（1月15～17日）の報道	190
10	三河地震発生から6日目以降（1月18日以降）の報道	191
11	まとめ	194
<b>第2節 報道内容（吉村委員、小澤委員）</b>		<b>195</b>
1	東南海地震、三重県の場合	195
2	東南海地震、静岡県の場合	198
<b>第3節 戦時下での地震についての調査（林委員）</b>		<b>204</b>
1	はじめに	204
2	様々な困難の中でなされた調査	204
3	東京帝国大学による東南海地震の調査	205
4	名古屋帝国大学と名古屋地方気象台による東南海地震合同調査	207
5	中央気象台による東南海地震の調査	210
6	三河地震の調査	212
7	まとめ	213
<b>第4節 おわりにー 太平洋戦争と東南海・三河地震ー（伊藤委員）</b>		<b>214</b>
1	戦局悪化のなかで	214
2	隠された大地震	215
3	疎開学童の悲劇	216
4	制約された地震調査	217